

中小企業あきた

- 1 「FOODEX JAPAN 2016」への出展企業を支援しました！…… 1
- 2 富樫博之衆議院議員に対し地方創生並びに
中小企業・小規模事業者対策を要望 …… 2
- 3 県内中小企業の動向等について意見交換 …… 3
～野見山浩平日本銀行秋田支店長が来会～

○景況レポート2月分 …… 4

- 話題の広場
- 中央会事業より …… 6
- アラカルト …… 7
- 新設組合紹介 …… 8
- 支援団体活動レポート …… 8
- インフォメーション …… 9
- 人事異動のお知らせ …… 9

4

APRIL.2016



TOPICS 1 「FOODEX JAPAN 2016」への出展企業を支援しました！

本県の食品関連事業者にとっては、急速な人口減少と少子高齢化により、新たな需要の確保が重要な課題となりつつあります。

そこで、本会では昨年度に引き続き、本県の食品・飲料関連事業者の販路開拓等を目的に、秋田県並びに秋田県信用保証協会、秋田県信用組合、秋田銀行、秋田市農産加工品等販売促進協議会との連携により「FOODEX JAPAN 2016 秋田県ブース」を設置し、公募等により採択された県内の食品関連事業者20社に対する出展支援を行いました。

「FOODEX JAPAN」は、一般社団法人日本能率協会等の主催によるアジア最大級の食品・飲料専門展示会で、41回目となる今回は、3月8日(火)から11日(金)の4日間にわたり千葉県幕張メッセにおいて開催され、世界各国から総勢3,197社が出展し、4日間合計で約76,500人が来場するなど、会場は連日活況を呈しました。

開催期間中は、本会職員をはじめとする各支援機関が首都圏や海外のバイヤーへ出展者一覧パンフレットを配布しブースへの誘導を図ったほか、出展者は、試食品やサンプル品を提供し自社の商品のセールスポイントを具体的に説明するなど、各社とも出展商品のPRを積極的に行いました。

なお、本会では、今後も各支援機関と協力し、県外への販路開拓を図るための取組について積極的に支援してまいります。



[秋田県ブースの様子]

—「FOODEX JAPAN 2016」出展者の声—

秋田県ブースへ出展した一部企業の出展目的・出展した感想をご紹介します。

▶株式会社鈴木青果問屋(横手市)

—出展商品:『山菜水煮』—

【出展目的】

秋田県産の天然物の山菜を、塩漬け・塩抜きして全国へ販売しており、更なる販路開拓や地域の雇用拡大を目指し出展。

【出展した感想】

昨年も出展し大きな成果があった。今回も、出展期間中だけで3件の商談がまとまったほか、自社商品を積極的にPRすることが出来た。



▶株式会社元氣屋(北秋田市)

—出展商品:『秋田比内地鶏中華そば』—

【出展目的】

県外への販路開拓を目指しており、今回の「FOODEX JAPAN」への出展が絶好の機会であるため出展。

【出展した感想】

出展期間中に商談はまとまらなかったが、今後の商談継続案件が5件ほどあった。

また、バイヤーとの商談で確実に売れるであろう商品のヒントをつかむことが出来たため、今後も積極的に商品開発に取り組んでいきたい。



▶株式会社諸井醸造(男鹿市)

—出展商品:『しょっつる』—

【出展目的】

外食チェーンやホテル・旅館など、しょっつるの業務用の用途拡大を目指し、新規顧客を開拓するため出展。

【出展した感想】

出展期間中の名刺交換枚数は150枚ほどで、今後の商談へつながる案件があったほか、自社商品を多くの来場者へPRすることができ、大変満足している。



「秋田県食品関連事業者サポートネットワーク」へ ご登録下さい!

本会では、県外等への販路開拓・拡大を目指す秋田県内の食品関連事業者をサポートするため、「秋田県食品関連事業者サポートネットワーク事業」(秋田県委託事業)を実施しています。

専門家派遣や補助金などの情報提供を無料で行っておりますので、どうぞご登録下さい。

なお、当事業の詳細につきましては、本会ホームページで紹介しています。

[本会ホームページ]

<http://www.chuokai-akita.or.jp/shoku-sapo.html>

TOPICS 2

トピックス SPECIAL FEATURES

富樫博之衆議院議員に対し地方創生並びに 中小企業・小規模事業者対策を要望

3月9日(水)、本会藤澤正義会長並びに伊藤邦夫専務理事、加藤貢事務局長等が東京都「衆議院議員会館」を訪れ、富樫博之衆議院議員に対し、地方創生(3項目)並びに中小企業・小規模事業者対策(3項目)に関する要望書を手交し、陳情・要望を行いました。

藤澤会長は、「県内企業の景況は、昨年11月から製造業が大幅な悪化に転じ、非製造業も小幅ながら悪化が続くなど、厳しい状況にあることから、国の政策による景気回復が期待されている。」と述べられ、地方創生においては、国による地方への産業再配置の構造的改革を推進することや、中小企業対策においては、生産性の向上による企業力強化のため、「ものづくり補助金」の継続が重要な視点であることを訴えました。

その後、率直な意見交換が行われ、富樫代議士からは「今回の要望事項については、実現に向け衆議院の委員会等を含め様々な場面で提案していきたい。また、政策を提案するにあたり、県内の中小企業・小規模事業者が必要としている具体的な支援内容を中央会として取り纏めて頂ければ、その内容に対応したきめ細かい政策が実現出来る。」との前向きな回答を頂きました。

—要望事項(計6項目)—

1 地方創生について

- (1) 地方創生の一体的な推進及び地方創生交付金の拡充と恒久化
- (2) 新エネルギー対策の強化
- (3) 奥羽新幹線の事業化

2 中小企業・小規模事業者対策について

- (1) ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金の継続
- (2) 商店街等に対するハード・ソフト支援の充実
- (3) 消費税の軽減税率制度導入に伴う事務負担の軽減及び支援



[要望書を手交する富樫代議士(右)・藤澤会長(左)]